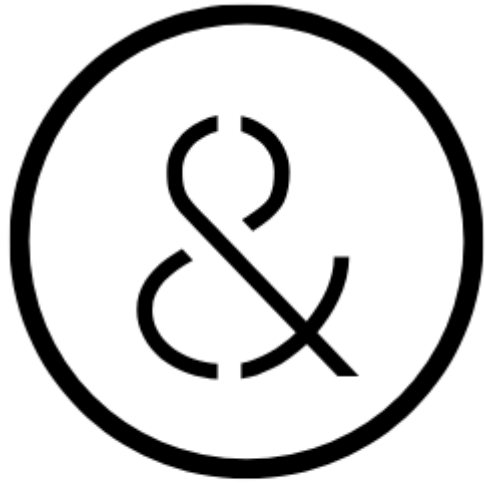


みんなの+1歩をつなぐアクション



いわきの地域共生

地域共生社会について

令和7年度 第1回いわき市地域共生社会推進会議 “IWAKI & MEETING”

令和7年7月22日(火)／総合保健福祉センター(多目的ホール)

1 地域共生社会の実現が求められる背景	1
2 地域共生社会とは?	3
3 地域共生社会のポイント	6
4 地域共生を進めていくために	12
5 地域共生社会の主な活動事例(&アクション)	17

1 地域共生社会の実現が求められる背景



1 地域共生社会の実現が求められる背景

人口減少・少子高齢化

出生数 ↓ 働く世代 ↓ 高齢世代 →

- ✓ 高齢者は横ばい、支える世代は減少、出生数も減少
- ✓ 支える側の減少 ▶ 働く人の減少、税収減少 等
- ✓ 支えられる側の増 ▶ 社会保障費の増 等

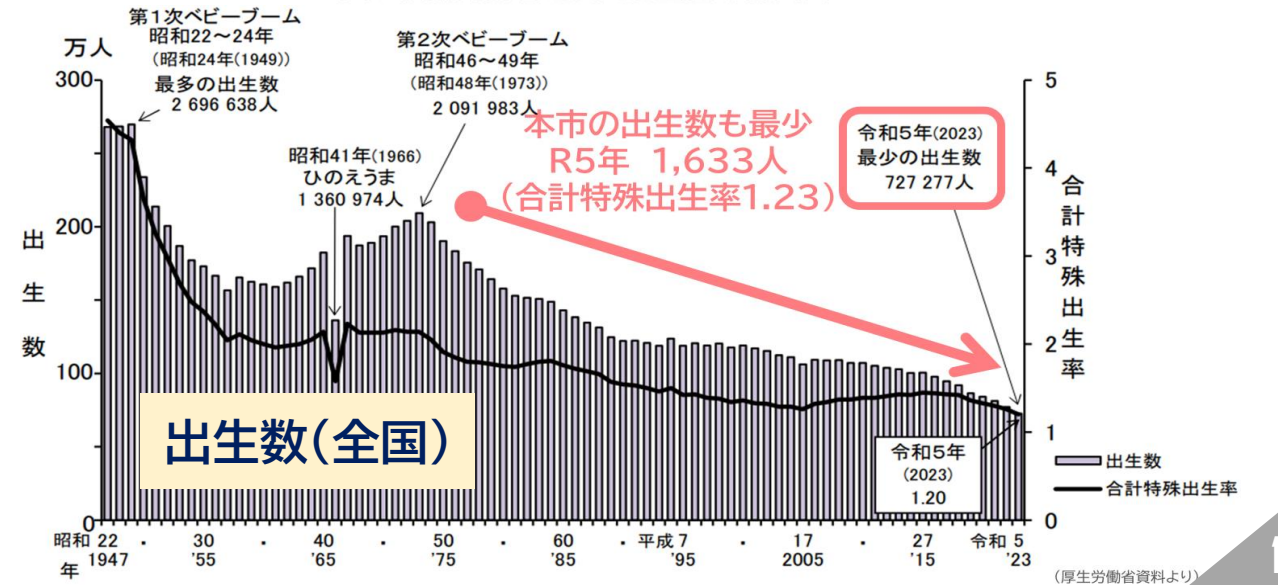
経済・社会・行政の活力低下

地域そのものの存続の危機

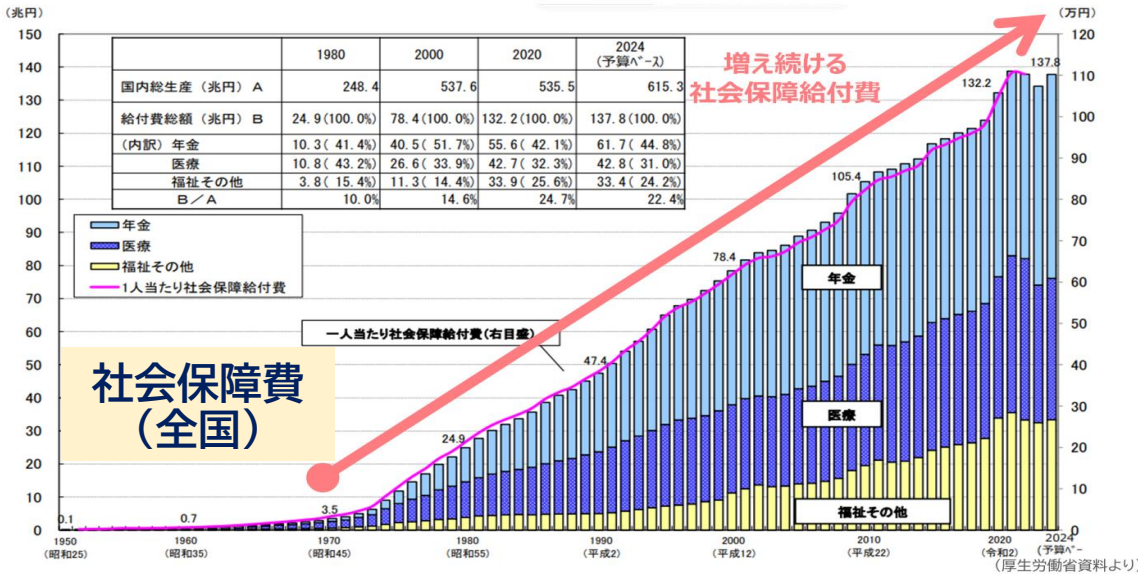


(第2期いわき創生総合戦略より)

一人の後期高齢者を支える生産年齢人口



(厚生労働省資料より)



1 地域共生社会の実現が求められる背景

これまでの福祉施策

- ✓ 「高齢者」「障がい者」「子ども」などの対象者ごとに、「縦割り」で専門的なサービスを提供

介護保険法

児童福祉法

子ども・子育て
支援法

障害者
総合支援法

生活保護法

母子・父子・
寡婦福祉法

など …



現状・課題

- ✓ 人口減少・少子高齢化、家族・地域社会の変容などにより、既存の縦割りシステム・制度ではカバーしきれない複雑化・深刻化した課題を抱える支援困難ケースが浮き彫りに

8050問題
高齢の親
無職・独身の子

ダブルケア
介護/子育て
介護/障がい

ひきこもり
複雑化した課題
生活困窮

認知症
認知症の家族を
抱える世帯

社会的孤立

ごみ屋敷

など …

これらのケースの多くは、各制度の狭間で対象になりにくく、その世帯の問題とされてきた場合が多い

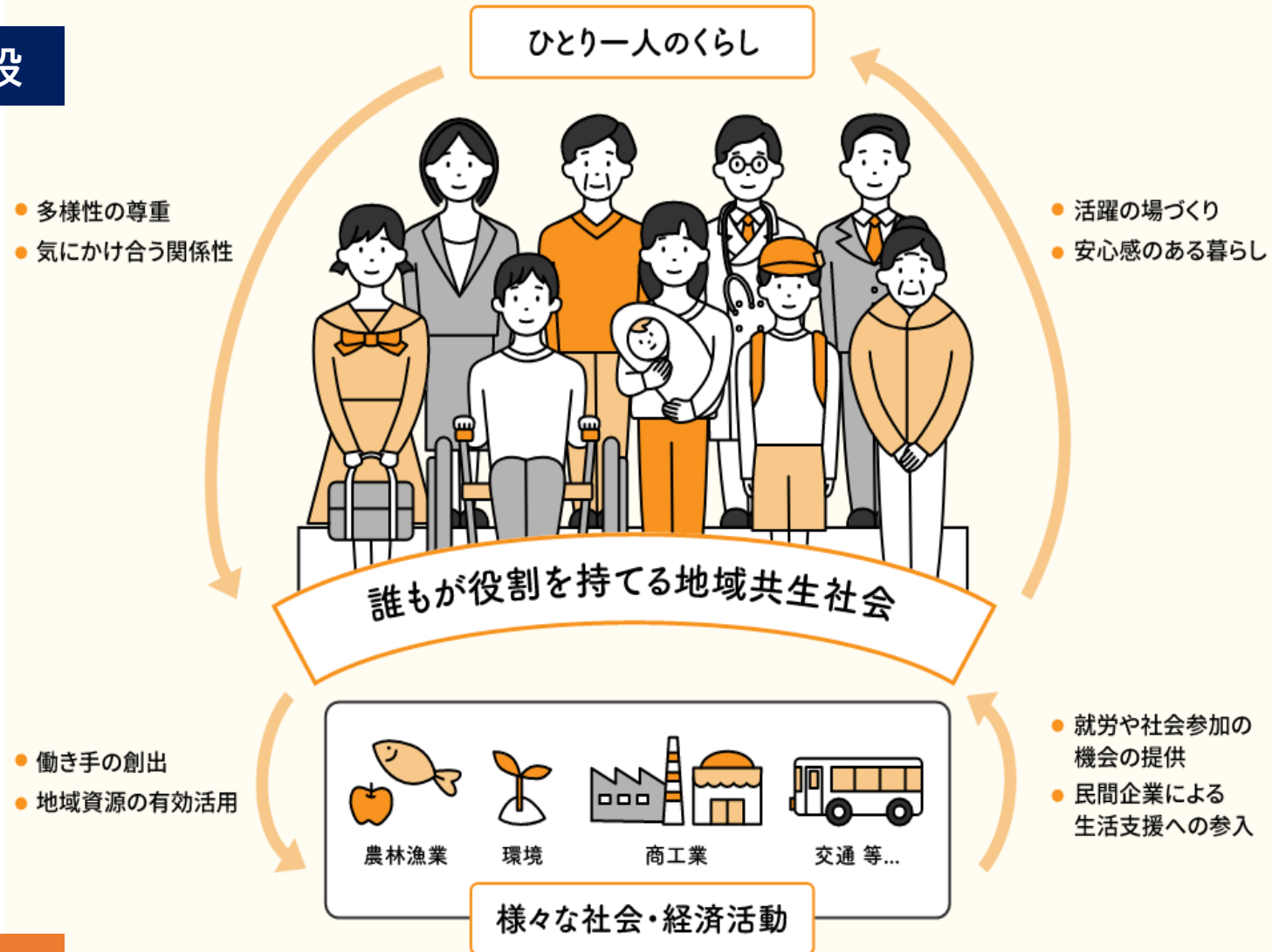
2 地域共生社会とは？

1 地域共生社会とは？ ▶ 定義

制度・分野ごとの『縦割り』や
「支え手」「受け手」という
関係を超えて、地域住民や地域の
多様な主体が参画し
人と人、人と資源が世代や
分野を超えてつながることで
住民一人ひとりの暮らしと
生きがい、地域をともに創っていく
社会を指しています。

手段

目標



1 地域共生社会とは？ ▶ 経緯（主なもの）

地域共生社会の実現（第4条第1項）

地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない。

地域福祉の推進

（第4条第2項）

地域生活課題の把握、連携による解決に向けた取り組み

（第4条第3項）

包括的な支援体制の整備

（第106条の3）

市町村に地域の特性を踏まえた、包括的な支援体制（※）の整備に努めることを義務づけ

（※）地域で支え合う関係性の構築や支援関係機関同士が有機的な連携を行うことができる環境整備等

重層的支援体制整備事業

（第106条の4）

包括的な支援体制の整備の手法の一つとして、市町村において相談支援、参加支援、地域づくりを一体的に実施する事業

（任意事業：全国346箇所）

H28 ニッポン一億総活躍プラン

- ・地域共生社会の実現が盛り込まれる
- ・「我が事・丸ごと」地域共生推進本部の設置

H29 社会福祉法改正

- ・地域福祉推進の理念
- ・包括的な支援体制づくり
- ・地域福祉計画の充実
 - ▶福祉の共通事項/上位計画

R2 社会福祉法改正

- ・包括的な支援体制の支援（重層的支援体制整備事業）
- ・認知症施策、介護サービス提供体制の推進
- ・医療、介護データ基盤整備
- ・介護人材確保・業務効率化

など

1 地域共生社会とは？ ▶ 地域共生に関連する主な施策



- ✓ 身寄りのない高齢者等支援
- ✓ 困難な問題を抱える女性への支援
- ✓ 矯正施設退所者等への支援
- ✓ ひきこもり支援
- ✓ 権利擁護支援
- ✓ 自殺対策
- ✓ 孤独・孤立対策
- ✓ 災害時の被災者支援
- ✓ 住まい支援
- ✓ 認知症施策 など

3 地域共生社会のポイント

3 地域共生社会のポイント ▶ キーワード



1 「縦割り」を**超える**



制度の狭間対応／各分野の専門性の活用／関係機関・関係者ネットワークで対応

2 「支え手」「受け手」の関係を**超える**



一方向から双方向の関係性へ／固定化された関係から支え合う関係性へ

3 「世代」「分野」を**超えてつながる**



世代を問わない対応／福祉以外の分野と一緒に（保健医療、労働、教育、住まい、地域再生、農業・漁業など）

地域共生のキーワード

超える  つながる

1人ひとりがこれまでの枠組み・考え方を「超えて」「つながる」
ことでウェルビーイング※な暮らし・地域を持続させること

※身体的・精神的・社会的に「well=良い」「being=状態」にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

3 地域共生社会のポイント ▶ 行動

超える / つながる



どうやって？

1

自分を知る

2

相手を知る

3

認めあう
助けあう

①自分ができること(してほしいこと)を知る！ 探求

②相手がやっていることに興味を持ち、知る！ + α の意識

③お互いに認め合い、助け合い、新たな1歩を踏み出す！

地区の集まりに
行ってみるか

手伝って
もらえない？

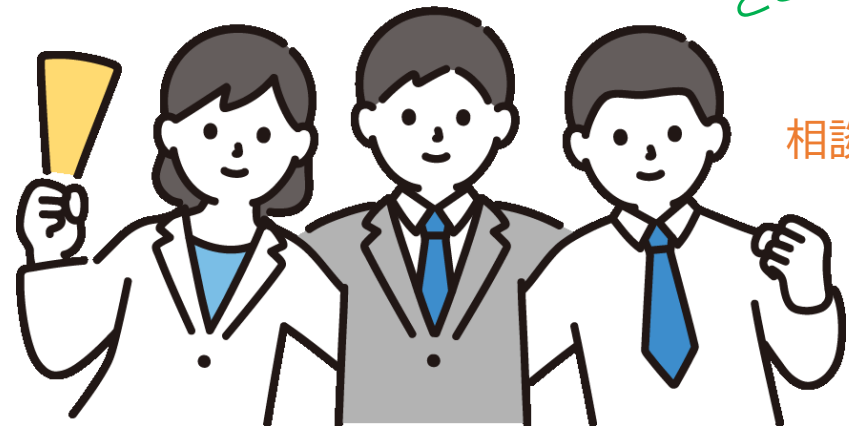
簡単な作業なら
手伝えるよ！

TEAM
KYOSEI

どこに相談できる？

あの人に
相談できるよ！

見守り
できるよ！



3 地域共生社会のポイント ▶ 行動



超える / つながる

1

自分を知る

2

相手を知る

3

認めあう
助けあう

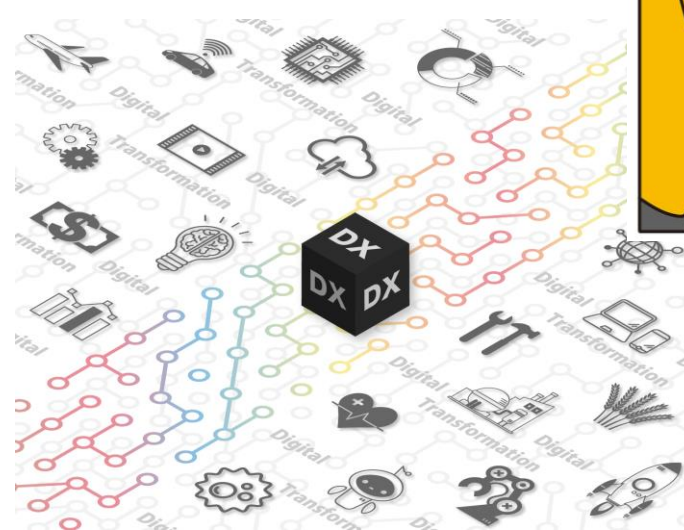


どうやって？



個々の意識醸成

推進体制



デジタル化 など

3 地域共生社会のポイント ▶ 行動

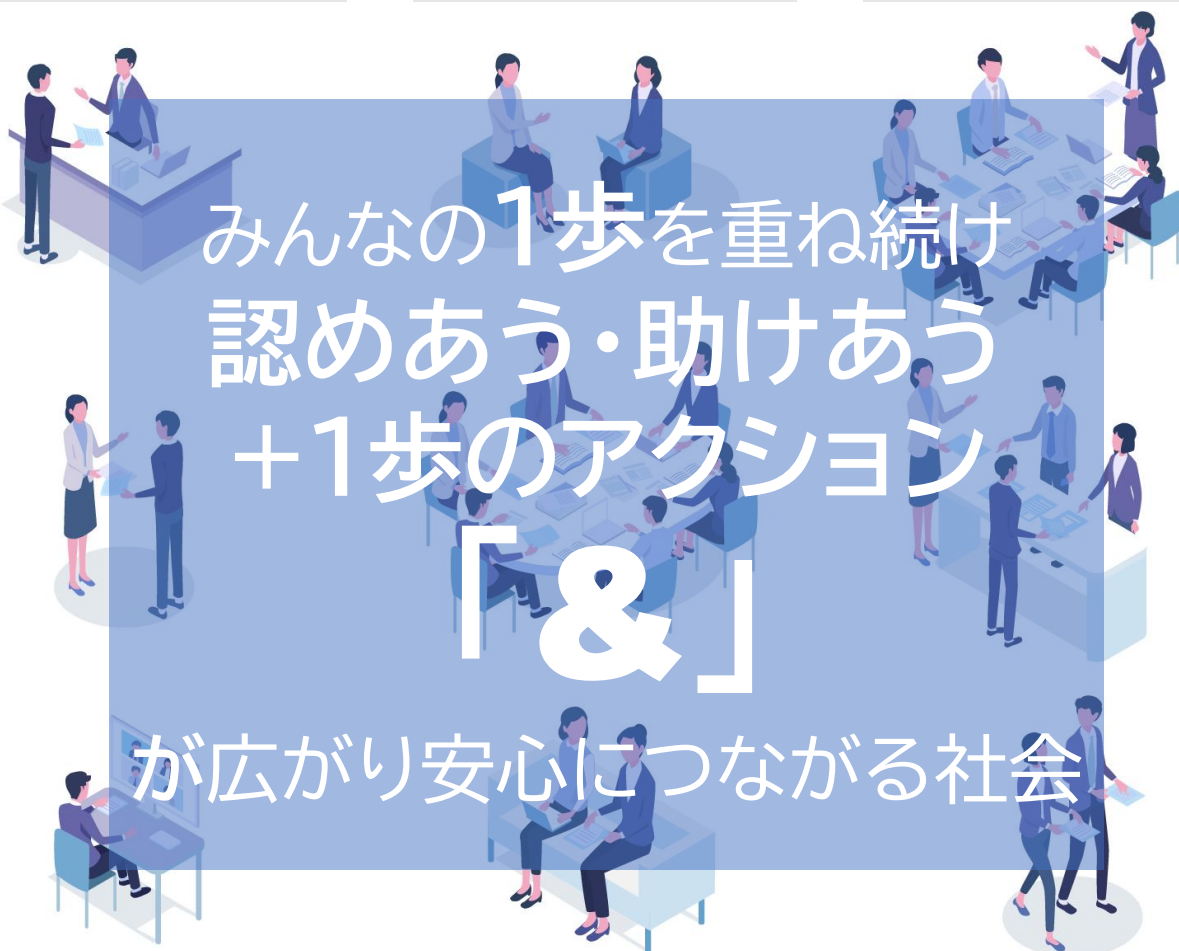
超える / つながる

- 1

自分を知る
- 2

相手を知る
- 3

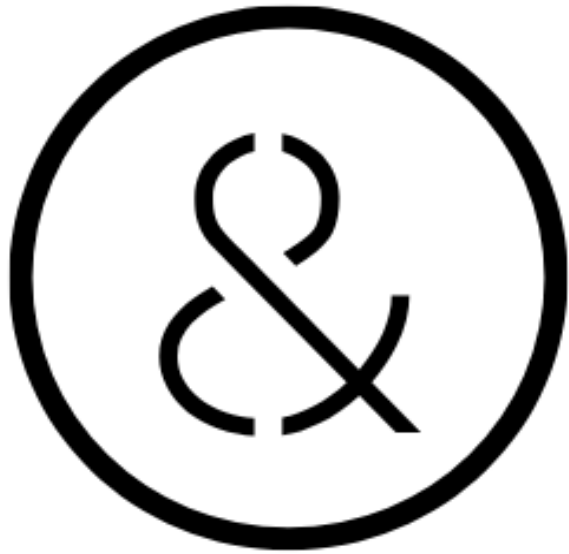
認めあう
助けあう



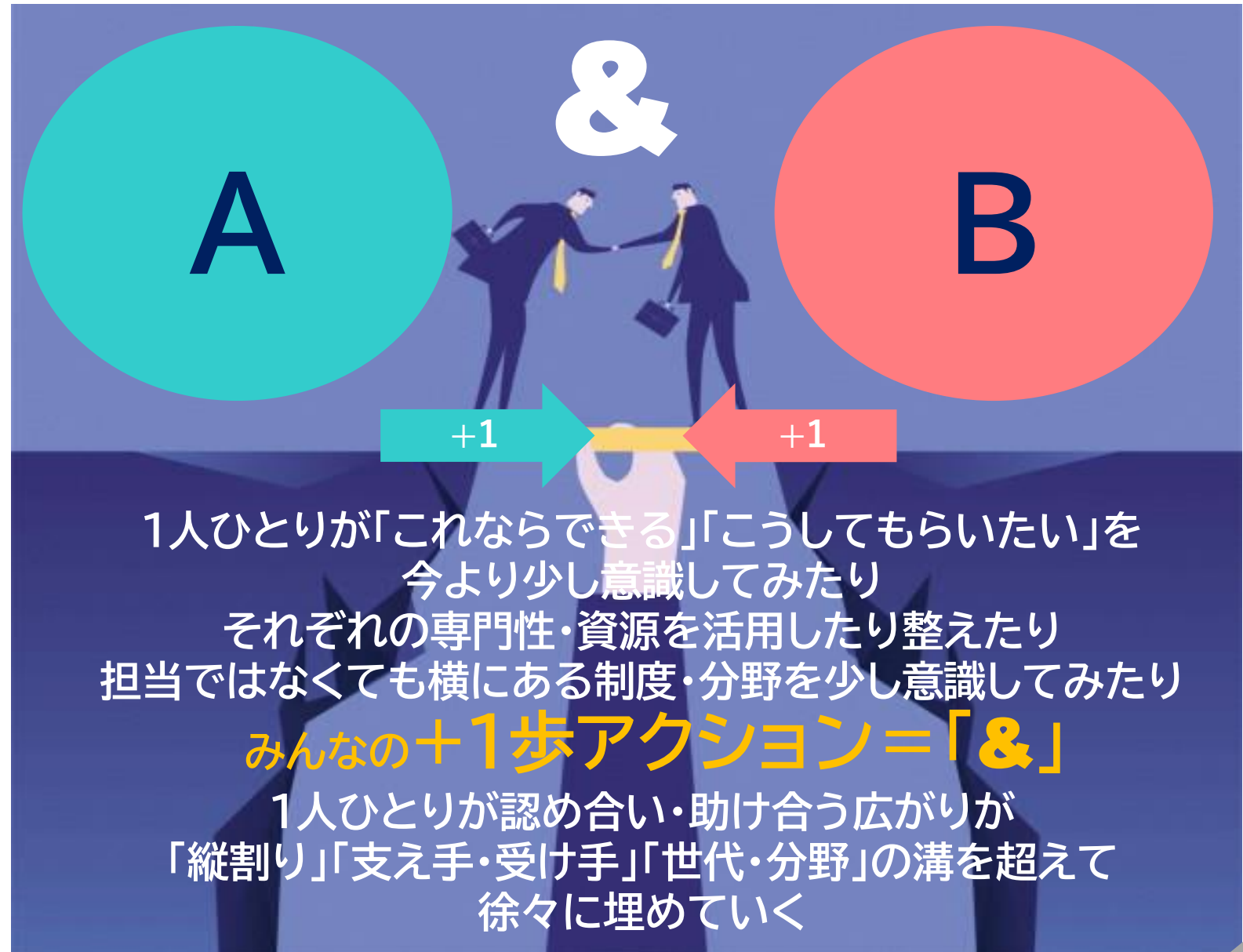
3 地域共生社会のポイント ▶ &アクション



みんなの+1歩をつなぐアクション



いわきの地域共生



4 地域共生社会を進めていくために

4 地域共生社会を進めていくために

地域共生社会の実現を目指すための体制づくり

= 包括的な相談・支援体制(重層的支援体制整備事業)

属性を問わない相談支援

課題を抱えた人・世帯を専門職等につなぐ

参加支援

課題を抱えた人・世帯を地域とつなぐ

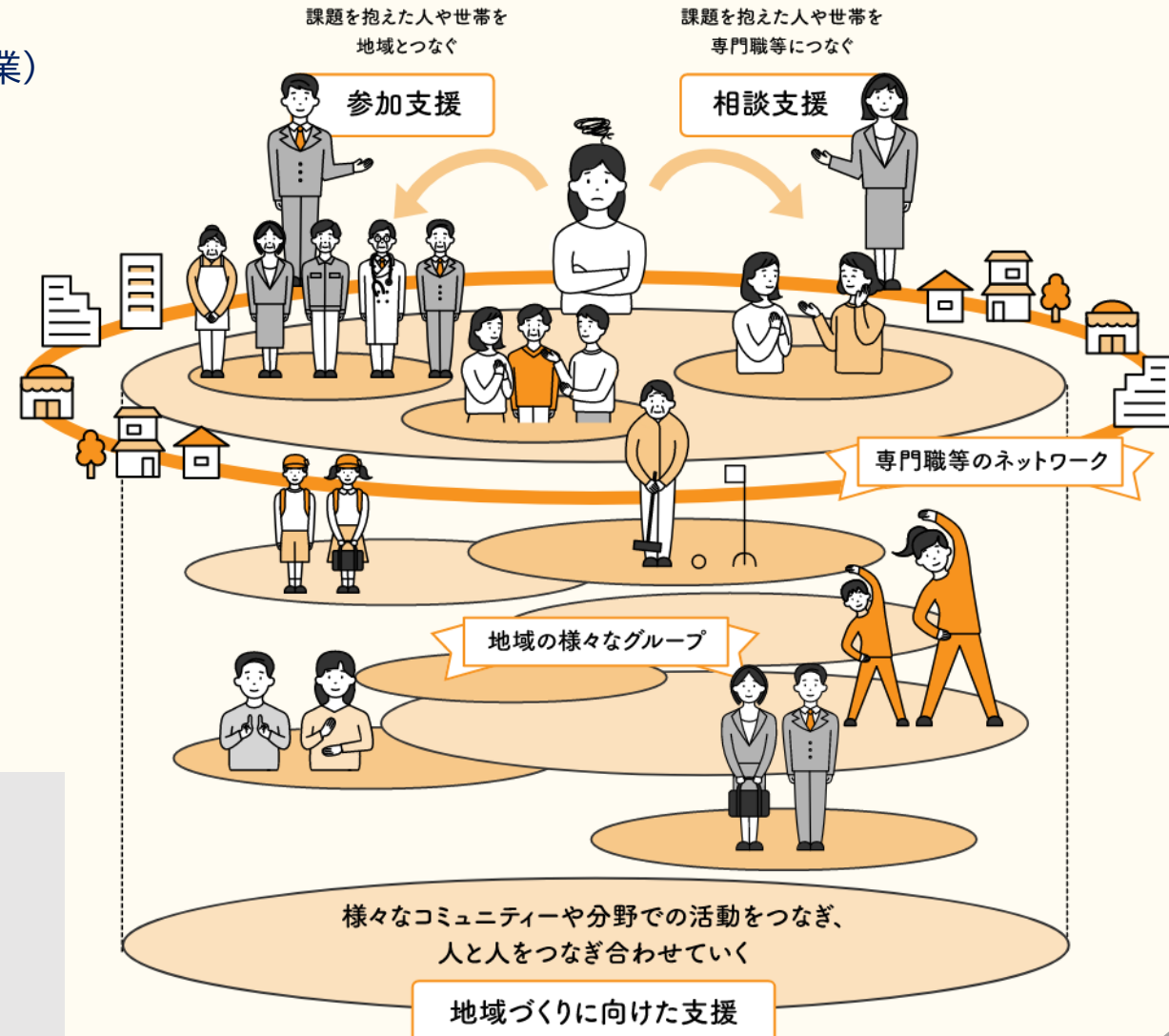
地域づくりに向けた支援

様々なコミュニティや分野での活動につなぐ

官民連携

特にアイデアを
いただきたい
部分

市町村全体がチームになり、3つの支援を一体的に実現する



〈厚生労働省が制度設計にあたり大切にしたい視点〉

- ① すべての人々のための仕組みとすること
- ② 実践において創意工夫が生まれやすい環境を整えること
- ③ これまで培ってきた専門性や政策資源を活かすこと

属性を問わない相談支援



- 平
- 小名浜
- 勿来・田人
- 常磐・遠野
- 内郷・好間・三和
- 四倉・久之浜大久
- 小川・川前

《地区保健福祉センター》
・H15.4～市内7地区に設置
・高齢・障がい・こども・困窮
など幅広い相談支援等行う

《多様な専門職を配置》
・社会福祉主事
・生活保護就労支援員
・生活保護面接相談員
・家庭相談員
・女性相談支援員
・母子・父子自立支援員
・社会福祉士
・精神保健福祉士

包括 社協

今後取り組むこと(予定)

地区センREBOOT

1 地区センのDX推進 (デジタルトランスフォーメーション)

➡ 介護保険・生活保護・保育所業務などの改善・効率化

2 地区センの専門性の強化

➡ 横断的なチーム制導入／人材確保・育成強化／アウトリーチ機能の強化

4 地域共生社会を進めていくために ▶ 属性を問わない相談支援

属性を問わない相談支援

2

多機関協働による専門的な支援・バックアップ

✓複雑・複合的な困難ケースへの専門的な支援 ▶ 保健福祉課の専門職(社会福祉士・保健師)が中心となり専門機関と連携し支援



今後取り組むこと(予定)

1 複雑・複合的なケースの把握強化

➡ 地区センの窓口相談・訪問相談を強化／つなぎ方強化

2 専門職と専門機関の連携強化

➡ 既存の会議体等の活用・バージョンアップ／情報把握・共有方法等の強化

支援プランの作成
支援方針/提供サービス/制度/事業等をコーディネート



4 地域共生社会を進めていくために ▶ 推進体制の強化

推進体制の強化

1

いわき市地域共生社会推進会議の設置

✓官民協働による地域共生の「エンジン／シンクタンク」的な機能を持つ会議体(市長をはじめとした24名の委員で構成)

2

地域共生社会の庁内推進体制の強化

✓保健福祉課内に専門セクションとして「地域共生社会推進係(R7～)」を設置(今後、組織横断的な庁内会議の設置を予定)

地域共生につながるアクションの具現化

1

(仮)共生アクションプランの検討・整理

地域共生に向けた具体的な取組(意識醸成/地域活動/居場所づくり/なり手確保等)を検討・整理し、**地域福祉計画と同時に公表**
(※後ほど説明)

2

共生のアクション(行動)につながる広報の検討

(仮)共生アクションプランを通して、**市民1人ひとりの行動変容につなげていくための仕組み**として、「**伝わる**」情報発信のしくみなどを検討

5 地域共生社会の主な活動事例(&アクション)

5 地域共生社会の主な活動事例（&アクション）

事例1

いとちプロジェクト

&アクション

医療 & 地域



医と地のあいだを みんなで耕す

いとちは、医療と地域、「い」と「ち」の担い手たちによるコミュニティデザインプロジェクト。語る、聞く、旅する、学ぶ、感じる、暮らす、歩く……。さまざまな活動を通じて、医療と地域の「あいだ」を耕し、よりよい鹿島地区を目指しています。

内容

かしまホーム

高齢者向けのグループホームとして実際に使われていた「かしまホーム」が活動拠点。毎日なにかしらわちゃわちゃと動いてます。

いとちワーク

地域医療を学ぶ学生向けの学習プログラム。医師だけでなく地域の人たちも講師を務めます。毎週火曜日の午後に絶賛開催中！！

いとちかいぎ

さまざまなステークホルダーが一堂に会して地域医療を議論する対話ワークショップ。あなたにとって理想の医療とは、地域とは？

いとちツアー

市内で活動するツアーガイドと連携し、いわき市内各地をめぐることで、歴史、文化、風土を体験。地を知ることで、医を豊かに。

5 地域共生社会の主な活動事例(&アクション)



事例2

小さな拠点おおか OOCA

&アクション

中山間地域 & 集い & 地産地消

私たちNPO「小さな拠点おおか」は、福島県いわき市の川前地域で少しでも、川前地域でのよりよい暮らしを目指すため、2023年に設立しました。

人口は1,000人を下回り、高齢化率も高い中山間地域ですが、みんなが集まり、気持ちや思いも集まり、食材が集まり、元気と笑顔も集まる「小さな拠点」を運営していきます。

「おおか」は、川前地域を構成する三つの地区、「おじろい(小白井)」「おけうり(桶売)」「かわまえ(川前)」の頭文字を取り、川前での暮らしを「謳歌」できるようネーミングしました。

内容



5 地域共生社会の主な活動事例（&アクション）

事例3

共生の杜青山

&アクション

住まい（シェアハウス） & 生活支援

内容

住宅確保に配慮を要する人たちに対して、国といわき市からの家賃補助等を活用する、セーフティネット住宅制度等を通して、住宅入居の円滑化を推進します。
 また、困りごとの相談や日常サービスを通して、生活の安定と健やかに安心して暮らせるコミュニティづくりを目指します。
 さらに、災害時や子どもたちの緊急避難場所として福祉機能の高度化を目指したいと考えます。



シェアハウス型住宅

居室はワンルームタイプで完全個室です。
 入居される方が助け合いながら普通の生活を営める場所を目指しています。



サブリース型居住支援

福島県で数少ないサブリース型居住支援施設です。緊急避難場所としての機能も果たします。



住宅確保要配慮者居住支援法人

福島県より
 住宅確保要配慮者居住支援法人として
 指定を受けています。

■指定番号 福島県指定第10号

5 地域共生社会の主な活動事例(&アクション)

事例4

こみゅーん助産院

&アクション

妊娠・出産支援 & 子育て支援 & 女性支援

こみゅーん助産院

親子の健やかな成長、女性の健康を促進できる環境づくり



1. 健やかな妊娠・出産・赤ちゃんの育ちの支援
2. 子どもに必要な「愛」と「遊び」を保証
3. 親や養育者の不安や負担の軽減
4. 女性に寄り添う主体的な利プロヘルスの向上
5. 子どもに優しい地域の共生協創



妊娠・出産・育児をサポートする場所です。

助産師が相談に応じ、母乳育児や乳房ケア、訪問サポートも行います。

オンライン相談も可能で、産後ケアも提供しています。気軽にご相談ください。

子どもが成人になるまで助産師と仲間たちによる長期的な育児相談&サポート

内容



てん・ステップ

10代の皆さんに寄り添い、一人一人に応じた安心・安全・自由な時間と空間を共に作る居場所です。

自分の心と体を大切に「自分らしく」生きる・自立に向かう応援をしています。



こみゅーんステーション

妊産婦・乳幼児家庭、女性の皆さんに役立つ健康や子育てについて、平時から防災減災にもつながる地域交流と情報発信を行います。日々の生活や育児の中に幸せな自分時間を感じ、学びや気づきのある楽しい仲間時間を一緒に過ごしましょう。



ホームスタート

妊婦さんや乳幼児子育て家庭が、地域で孤独を感じたりワンオペ状況とならないために、研修を受けた子育て経験のあるボランティアさんが家庭に伺い、フレンドシップの関係で「傾聴」と「育児・家事の協働」をする親身な寄り添い支援です。



5 地域共生社会の主な活動事例(&アクション)

事例5

(株)いわきスポーツクラブ

&アクション

スポーツ & 福祉・健康など

内容



TOP TEAM
高齢者施設での交流活動

地域の高齢者施設と連携をし、トップチームの選手たちが施設を訪問しています。入居者との交流活動を通じて、認知症に対する理解を深めています。



TOP TEAM
認知症サポーター活動

いわきFCでは、トップチームの選手が自ら認知症サポーター養成講座を受講し、ファンの皆さんとも知識を共有しています。この取り組みは、「2024 Jリーグ チャレン・アウォーズ」でパブリック賞を受賞するなど評価を受けました。

CLUB
異文化交流

Jヴィレッジで開催された対日理解促進交流プログラム「JENESYS 日本・ASEAN スポーツ×SDGs」にいわきFCが参加し、パートナー企業と連携し、ASEAN諸国の高校生らと様々なプログラムを通じて交流しました。



最初から「答え」を決めず・こだわりすぎず
地域共生社会には**100%の正解はない**ので
関係者を巻き込みながら
いわきにフィットした地域共生のスタイルを模索しながら
育てていきたい！

いわきらしい地域共生社会の実現に向け
皆さまと一緒に進めていきたい！